

スポーツ少年団便り

身边な学校や地域でスポーツができるようにするために

～運動部活動とスポーツ少年団指導者の育成～



釧路市スポーツ少年団 副本部長
指導者協議会運営委員長 大久保 貢



一旦収まったコロナ感染がまた広がり延期していた釧路市・釧路管内のスポーツ少年団の事業、今年に入り感染数も減少し、時期ははずましたが、2月11日には第2回体力テスト会、11日・18日にはジュニアリーダースクール(道東ブロック)を開催することができました。毎年3月上旬に持ち回りで開催している「管内指導者・母集団交流研修会」(昨年中止白糠町主管)も音別支部が主管し開催することができました。

改めて子どもたちの元気な声、子どもたちの学ぶ姿、指導者・母集団や各市町村の事務局等の皆さんのが一堂に会し真剣に学び交流する姿を見せて頂き、中止の選択肢のある中、開催することができ本当に嬉しく思いました。

今子どもたちのスポーツ環境はいい方向に向いてはおりませんが、スポーツ少年団の取組みは指導者養成事業も含め子どもたちのスポーツ活動の場を広めるためよく考えられた活動だと思います。

今年度1年間 スポーツ少年団本部はもちろん釧路市・釧路管内の指導者協議会の事務局として企画・運営も含め多大なるご支援を頂きました釧路市スポーツ財団の皆様、スポーツ協会をはじめ関係各位に心より感謝いたします。

第29回管内指導者母集団交流研修会の2年ぶりの開催・・・(音別支部主管)

「スポーツ少年団に関する指導者・母集団が一堂に会し交流・研修を深め単位団の更なる発展と指導者等の資質向上」を目的に各市町村が持ち回りで主管し開催しております。管内のすべて市町村から50名近くの参加を頂き、2時間余りの研修会でしたが参加者にとって充実した研修会になりました。今後、それぞれの地域の少年団活動に生かして頂ければと思います。

認定員の資格移行と新しい指導者養成スタートコーチについて・・・(講話・説明)

①「日本スポーツ少年団の動向と釧路市管内のスポーツ少年団の活動」 ②「北海道スポーツ少年団指導者研究協議会参加報告」 ③「認定員のコーチングアシスタントへの移行とスタートコーチ(スポーツ少年団)」の内容で講話・説明がありました。これから指導者の養成の他「少年団改革プラン2022」や「運動部活動の地域移行」など喫緊の課題について学ぶことができました。

少年団に加入して活動している3単位団からの活動紹介・・・(事例発表)

主管音別町支部からは①町の行事と連携し取り組んでいる多種目少年団「ビーナススポーツ少年団」、釧路市からは②一昨年から新たにスポーツ少年に登録し活動しているバトン少年団「アイランドバトンクラブ」そして③少年団事業にも積極的参加して春の全国大会出場に向けて強化練習をしているバレーボール少年団「AT1バレーボール少年団」の3つの単位少年団から事例発表をして頂きました。

次年度は弟子屈町が主管し開催します。・・・多くの方の参加に期待

各市町村から活動を紹介して頂きました。時間が限られた中でのご紹介でしたが、大幅な団員減少や中学校の部活動の対応、指導者の養成、各地区の実情や取組みの成果や課題をお聞きしました。交流研修会は管内指導者協議会の事業ですが、この事業を含め地域交流・管内交流などを毎年持ち回りで開催しております。スポーツリーダー兼認定員養成講習会については令和2年度まで各町村が主管し開催しておりました。スタートコーチ養成講習会は毎年開催が望まれる…

次年度は弟子屈町が主管となり開催となります。以前の様に各単位団から指導者や母集団の方々が制限なく多数参加できる楽しい交流研修会になればと思います。

やってみよう！

コーチングアシスタントへの資格移行

資格移行とは？

令和6年度以降は、現行の認定員資格で少年団登録をしている方は、今後は資格移行をしたコーチングアシスタント資格での登録が必要となります。
詳しくはこちら → <https://www.japan-sports.or.jp/club/tabid1314.html>

Point



まず準備として、連絡を受け取るメールアドレスと、メールを確認できるパソコンまたはスマートフォンを用意すると作業がスムーズに！

ステップ1 指導者マイページの作成

パソコンまたはスマートフォンで、日本スポーツ協会のホームページから、【指導者マイページ】を作成します。個人情報を入力する必要があります。メールを登録し、そこに送られるメールを確認するとすぐに指導者マイページができます。

指導者マイページ作成はこちらから → <https://my.japan-sports.or.jp/login>



ステップ2 資格移行の申請

https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/syonendan/2021/ca_ikoumanual.pdf 【移行マニュアル】

上記のサイトを参考に、コーチングアシスタントの移行手続きを行います。

その際、認定証かスポーツ少年団登録システムの画像が必要になります。

認定書を紛失している方は、釧路市スポーツ財団に問い合わせください。



<認定証のイメージ>

<スポーツ少年団登録システムの画面のイメージ>

更新状況	
登録	ステータス
登録済み	
基本情報	
氏名	林 勝也 (タケル セイタ)
生年月日	1982-07-23
性別	男
性別	男
資格	
資格名	指導者
登録日	2020-01-01
更新日	2020-01-01

※ スポーツ少年団登録システムの登録されている指導者の詳細画面です。

少年団登録システムか、
認定証のどちらかの
画像が必要になります。

ステップ3 承認・登録手続き

承認には1~2ヶ月かかるので待ちます。

承認されるまで指導者マイページには、【未承認】という表示が出ます。承認されたら、手続きを行います。

令和5年度の4月1日から登録されるためには、令和4年11月30日までに移行申請、令和5年3月31日までに資格登録手続きが必要となります。

免除申請情報

コーチングアシスタント

未承認

令和4年度スポーツ少年団 主な事業経過報告

北海道スポーツ少年団指導者研究協議会

(12月17・18日(土・日) ホテルライフォート札幌)

北海道中から指導者・少年団事務局員などが集まり、講座を経てそれぞれの地域が抱える問題点を話し合うグループディスカッションを行いました。釧路からは5人が参加し、各々が自分の少年団に新たな考えを持ち帰る実りのある会議となりました。



後期体力テスト会

(2月11日(土) 湿原の風アリーナ釧路)

待ちに待った後期テスト！
前回からどれだけ成績が伸びたでしょうか？
後日、今回の記録の書かれた賞状がみんなのもとに贈られます。
また今回は、新しいリーダーたちも、お手伝いに参加してくれました！



ジュニアリーダースクール道東ブロック

(2月18日(土) 湿原の風アリーナ釧路)

例年宿泊をする当イベントですが、今回はコロナ禍を考慮し、2日に分けて行われました。グループでの旗作成や発表、モルックやタグラグビーなどを行いました。
今後もいろいろな経験を積んで、みんな立派なリーダーになってください！



指導者・母集団交流研修会

(3月5日(日) 釧路センチュリーキャッスルホテル)

今年度は交流研修会は音別が主管となり、44人が参加し発表を行いました。

音別の複合団からの発表ではヤマベ放流やサイクリングなどの活動報告があり、また、釧路市からは、新たに加入したai * Land Baton club と AT1の2団体が発表しました。



少年団紹介のコーナー

DBCは2021年4月より活動を始めました。バドミントンを通して体力の向上だけではなく精神面や礼儀を学び、努力する事でしか味わうことのできない達成感を知ってほしいという想いで発足しました。

当初は小学生4名からのスタートでしたが、現在は幼稚から小学6年生までの12名になりました。いつもは優しく、時には少し厳しく基礎から丁寧に指導しています。明るく楽しい雰囲気が魅力のチームです。どうぞよろしくお願ひします。



DBC(バドミントン少年団)

全道の登録状況

市区町村	団数	男子団員	女子団員	合計団員	男性指導者	女性指導者	指導者合計
全体	1685	20160	9329	29489	3890	758	4648
札幌市	218	2690	710	3400	436	64	500
帯広市	69	990	341	1331	158	36	194
旭川市	58	687	319	1006	129	24	153
千歳市	55	821	351	1172	128	18	146
北見市	53	707	314	1021	118	24	142
釧路市	50	602	291	893	113	31	144
その他	1182	13663	7003	20666	2808	561	3369

全道180市区町村のうち、釧路市は登録団数が6番目に位置しております。やはり札幌市への人口一極化が目立ちますが、他5市の団数はおおよそ横並びとなっています。

コロナ禍終息後の登録団員数増加のため、他市での施策を今後参考に取り入れていくことが重要となっていきそうです。

令和5年度スポーツ少年団 事業予定

- 前期体力テスト会 6月
 - 後期体力テスト会 10月
 - 母集団研修会 7月
 - ジュニアリーダースクール前期 11月
 - スポーツ交流会 9～10月
 - ジュニアリーダースクール後期 2月

これから釧路市釧路管内
スポーツ少年団の活動予定

スポーツ大好きな子どもたちを増やすために・・加入促進の取組

編集後記